

2026（令和8）年度 編入学試験（経済学部 現代経済学科）

試験施行日 試験施行日 令和8年3月5日（木）

科 目	経 済 学
-----	-------

受 験 番 号	氏 名

以下の1から7のすべての問題を解答せよ。（問題文の下に空白に記述すること。）

- 1, (1) 一般的な需要曲線、供給曲線のもとで、企業が外部不経済を発生させているとき、政策当局がなにも政策を行わないときの均衡の生産量と総余剰を図を使って説明せよ。

- (2) 1,(1)の場合にどのような政策が有効か述べよ。

- 2, 完全競争市場の代表的企業の短期の利潤最大化に対して、
(1)企業の利潤を式を使い定義し説明せよ。

- (2)利潤最大化について説明せよ。

3, 企業の短期の限界費用曲線、平均総費用曲線、平均可変費用曲線を用いて、損益分岐点、操業停止点、短期の供給曲線を式と図を使って説明せよ。

4, 完全競争市場において、価格を均衡価格より低い価格に規制したときどうなるか、図を使って説明し、また総余剰を求め市場の効率性についても述べよ。

5, Y : GDP、 C : 消費、 I : 投資、 S : 貯蓄、 E : 輸出、 M : 輸入、 G : 政府支出、 T : 税金、であるとき、
(1) 政府、輸出入が存在しないとき、貯蓄と投資の関係を式で説明せよ。

(2) 政府、税が存在し、輸出入もあるとき、貯蓄と投資、純輸出、財政赤字の関係を1本の式で表し、その関係を説明せよ。

6、 来期の資本が $K(t+1)$ 、今期の資本が $K(t)$ 、投資が $I(t)$ 、資本減耗が $D(t)$ 、資本減耗率が d （一定）、とするとき
来期の資本と今期の資本、投資、資本減耗の関係を式で表し、説明せよ。

7、政府、輸出入がないとき、消費関数が $C(\text{消費})=a_0+a_1 \times Y$ （GDP）、 a_0 、 a_1 は定数で $a_0>0$ 、 $0<a_1<1$ 、投資は I で一定のとき、
均衡 GDP と乗数をもとめよ、また図も使い説明せよ。

採 点	
--------	--